

令和5年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号2

千葉県立千葉女子高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

学習成績が優秀で、中学校生活全般にわたり特に積極的な取り組みを行った者

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査（面接）	受検者5名・評価者3名の集団面接 検査時間：1グループ15分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書〔155点満点〕

アの数値にエについて加点（上限20点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において20日以上欠席がある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が2個以下の場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録 部活動の記録 特記事項	生徒会活動、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述について加点する。 部活動の部長及びそれと同等と認められる役職について加点する。 漢字検定・英語検定・数学検定・書写技能検定（硬筆・毛筆）等について、一定の基準を満たすものについて加点する。
オ 総合所見	総合的に判定する際の参考とする。

(3) 学校設定検査（面接）〔30点満点〕

3名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。3名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（aaa～ccc）で得点化する。cを含む評価の組合せが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 服装・頭髪等身だしなみ	華美でなく、清潔感があり、凛とした印象を与えている。
イ 受け答えの様子	話し方が明瞭で、堂々とした受け答えである。
ウ 受け答えの内容	自らの言葉・考えを明快に語っている。高校生活に前向きな姿勢が見られる。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定（K=1）	加点	面接	
500点	135点	20点	30点	685点

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面談を行う。

令和5年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号2
千葉県立千葉女子高等学校 全日制の課程 家政科

1 期待する生徒像

次のすべてを満たす者

- ア 学習成績が優秀で、中学校生活全般にわたり特に積極的な取り組みを行った者
- イ 家政科を希望する動機が適切で、家庭科の授業に興味や関心がある者

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査 (適性検査)	小学校・中学校で学習する被服に関する実技を伴う適性検査 検査時間：30分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書〔155点満点〕

アの数値にエについて加点（上限20点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において20日以上欠席がある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が2個以下の場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録 部活動の記録 特記事項	生徒会活動、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述について加点する。 部活動の部長及びそれと同等と認められる役職について加点する。 漢字検定・英語検定・数学検定・書写技能検定（硬筆・毛筆）等について、一定の基準を満たすものについて加点する。
オ 総合所見	総合的に判定する際の参考とする。

(3) 学校設定検査（適性検査）〔60点満点〕

3名の評価者が、次のア～オの5つの評価分類（計20の評価項目数）ごとに、各評価基準に基づき、a（できている）・b（できていない）の2段階で評価する。aを1点、bを0点とし、3名の評価者の評価（各20点満点）を合計し、得点化する。

評価分類（評価項目数）	評価基準
ア 布目・折り方・糸 （3）	指示されたとおりの向きに布を使用している。指示されたとおりに布を折っている。指示されたとおりに糸を使用している。
イ 縫製①～⑤ （5）	指示されたとおりに基礎縫いができている等。
ウ 縫製⑥～⑩ （5）	指示されたとおりに基礎縫いができている等。
エ 縫製⑪～⑮ （5）	指示されたとおりに基礎縫いができている等。
オ 完成度 （2）	優れた出来栄である等。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（適性検査）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定（K=1）	加点	適性検査	
500点	135点	20点	60点	715点

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面接を行う。